

科目名		授業形態		担当教員名	
医療安全管理学演習		演習		阪本 壮志・宮下 久美子 野村 大樹・南 正雄	
時間数（単位数）		授業回数		年次	開講時期
60 時間 （ 2 単位）		30 回		2 年次	後期
授業の目的・概要					
手洗い演習をすることで感染症対策を実演する。また、輸液ポンプ管理を行い、安全管理について座学で学んだ知識を応用する。実際に漏れ電流測定ボックスの作製・校正・測定・解析を通して、医療機器の電氣的安全について理解させる。					
授業の到達目標					
演習を通して、各種医療機器の電氣的安全保守点検方法を修得し、安全管理について理解を深める。					
授業計画					
回	内容				
1	前半オリエンテーション(1)感染症対策		16	漏れ電流測定BOX(製図)	
2	前半オリエンテーション(2)輸液ポンプ管理		17		
3	感染症対策(1)培地作製		18	漏れ電流測定BOX(穴あけ・パーツはめ込み)	
4	感染症対策(2)手洗い演習		19		
5	感染症対策(3)検鏡		20	漏れ電流測定BOX(はんだによる結線)	
6	感染症対策(4)スケッチ		21		
7	輸液ポンプの流量制度		22	漏れ電流測定BOX(キャリブレーション・補正)	
8	輸液ポンプの閉塞圧測定		23		
9	シリンジポンプの流量制度		24	漏れ電流測定	
10	シリンジポンプの閉塞圧測定		25		
11	スタートアップカーブ、トランペットカーブ		26		
12			27		
13	後半オリエンテーション		28		
14			29		
15	DMM、はんだ、はんだこての使用方法		30	実技試験、小テスト	
成績の評価方法と基準					
種別	割合	評価基準・その他備考			
筆記試験					
レポート・課題	50%	感染症対策と輸液ポンプ管理のレポートの内容を評価する。			
小テスト	25%				
平常点					
その他	25%	漏れ電流測定(実技試験)を評価する。			
自由記載					
教科書					
書名			著者・編集者名		出版社名
なし					
自由記載					
参考文献					
書名			著者・編集者名		出版社名
臨床工学講座 医用機器安全管理学			施設協議会		医歯薬出版
MEの基礎知識と安全管理			日本生体医工学会ME		南江堂
ME機器保守管理マニュアル			渡辺敏・小野哲章・峰島三千男		南江堂
自由記載					
備考					